

教育委員会執行事務の点検と評価

平成25年度

平成26年8月

智頭町教育委員会

目 次

1. はじめに	… P 1
2. 平成25年度の主要事業・評価・主な取り組み状況・課題問題点	… P 2～P 19
3. 教育委員会の活動状況	
1) 教育委員の在任状況	… P 20
2) 教育委員会の会議の状況	… P 21
4. 附属機関の開催状況	… P 22
5. 参考資料	… P 23～P 30

1. はじめに

教育委員会では、今後の課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るため、教育委員会の事務・事業の点検・評価を行いました。

趣 旨

平成20年4月に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、新たに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行ない、議会に提出するとともに、公表しなければならない。」旨が規定されました。

これに基づき、智頭町教育委員会では、平成19年度から具体的な施策や主要な事業について、点検及び評価を実施することとしました。

今後の課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政施策の効果的な推進を図りたいと考えています。

実施方法

智頭町教育ビジョンに基づく前年度の具体的施策及び主要事業を対象として、年1回の点検及び評価を実施しました。

点検及び評価は、前年度の事業等の実施状況を報告するとともに、課題や今後の取り組みの方向性を示すものとし、町教育委員会において点検及び評価を実施しました。

点検及び評価を行なった後、その結果を取りまとめた事業評価書を智頭町議会へ提出するとともに、公表することとします。

根拠法令

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号)第27条(一部省略)

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行ない、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

教育委員会は、前項の点検及び評価を行なうに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《次世代育成事業》</p> <p>子育て支援センターの運営充実</p>	<p>子育て環境づくりを進め、子育て支援センターの運営を充実します。</p> <ul style="list-style-type: none"> *子育て講演会の開催 *講座の開催 *子育て相談 *子育てサークルの育成 *父親の子育て参加を促進 	○	<p>*月曜日から金曜日まで毎日開所し、ゆったりと穏やかに過ごせる環境づくりに努めました。「感ぜられる場」と保護者からの声も聞かれました。(年間延べ4,000名の利用者)</p> <ul style="list-style-type: none"> *月1回『土曜開所』を行い、休日でも親子がゆっくりと過ごせる場所づくりをしました。また父親の育児参加がしやすい環境づくりにも努めました。父親の利用は少なくとも年間54名となりました。(母親の利用年1,565名) *子育てサークルの育成に向けて、保護者主体の活動を実施し、子育て仲間同士のつながりが深まり、自主運営のイベントの開催ができました。 	<p>*休日の開所を、イベント的な取り組みと併せて行い、父親の参加・利用をより一層推進します。また、父親が足を運びやすい環境づくりに努めるとともに、開所を多くの利用者へ周知する工夫もします。</p> <ul style="list-style-type: none"> *異年齢児が集う場所ですが、年齢にあった環境づくりが不十分です。工夫をしながらどの年齢の子どもたちも楽しめる場所づくりを行います。 *自然や季節感を取り入れた遊びも工夫をします。 *保護者の子育て相談に的確に答えられるよう、発達等について職員の研修を行います。
<p>ファミリーサポートセンター推進事業</p>	<p>会員の増加、利用件数の促進、働く人のサポートのため、利用しやすいシステムづくりの構築を図ります。</p>	○	<p>*保育園・放課後児童クラブへの送迎が最も多い支援でしたが、食事つきの利用が増え働くお母さんの支援の必要性を感じました。</p> <p>年間利用件数602件・会員数167名 (依頼会員114名・支援会員46名・両方会員7名)</p> <ul style="list-style-type: none"> *会員研修4回を計画しましたが参加者は少なく内容・周知の方法に工夫が必要です。 	<p>*会員の整理をし会員数は減りましたが、支援内容に適した人材のコーディネートをしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> *利用会員には子ども様子を事前に記入してもらっていただきますが、利用の有無に関わらず毎年更新してもらおうように周知します。 *会員研修を周知し参加を呼びかけると共に、適切な支援が行えるようにします。
<p>放課後児童クラブの設置運営</p>	<p>放課後児童の自主的・自主的・自主的の場と居場所づくり及び少子化によって失われた子どもたちが群れる場所を提供します。</p>	○	<p>*智頭児童クラブ活動場所移設(5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> *各児童クラブ保護者会(3回) *指導員研修会(2回) *1年生を迎える会、七夕会、クッキング、クリスマス会、6年生を送る会の実施 *子どもたちの様子を話し合う日づくり、指導員同士の共通理解を図りました。 *智頭と土師で子ども達の群れる遊び形態に違いはありますが、縦の関係も少しずつ出来てきています。 <p>【登録児童数】H25.08.01時点 智頭：62人 土師：37人</p>	<p>*開設場所が2カ所となり、智頭児童クラブの受け入れ対象が智頭・山形・山郷・富沢地区の児童となったため登録児童が多く、限られたスペースの中で活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> *児童の安全確保のため、指導員の養成が必要で、夏休み等長期休業中は、利用したい児童が増え、指導員の確保が課題となります。 *指導員の子どもも理解が必要です。その為には今後子どもを語る時間の保障や、研修を行います。

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題・問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
育児支援家庭訪問事業	未就園児家庭の訪問等を通じて、育児支援が必要な家庭に対し、子育て経験者等による育児相談、家庭援助を行います。	○	*未就園児の全家庭を訪問し、養育支援を行いました。 *家庭訪問回数97回（内赤ちゃん訪問40家庭） *1歳児の誕生日訪問を行いました。 *町の支援・施策についての紹介や子育て情報を提供しました。	*子育て不安のある家庭に対し、支援の方法について関係者（保健師・医療関係・支援センター等）と連携を強化します。 *乳児健診や離乳食講習会を利用して子育て支援センターへの利用を促し、孤独な子育てにならないよう配慮します。
家庭支援推進保育	*家庭訪問を実施します。 *担任保育士との連携を密にします。	○	*支援が必要な家庭に対し、担任と一緒に家庭訪問を行いました。	家庭支援推進保育士は、重要な職務ですが、兼務なので家庭の中に入り込んで支援することが難しい状況にあります。
森のようちえん事業	森林を活用して幼児期の体と心の育成を進めている森のようちえん事業を支援します。	○	*スタッフの人員費、森林まで移動するための車両、フィールドの管理費などの経費を助成しました。	*就学に向けた集団活動の経験を図るため、諏訪保育園との交流を実施しました。

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>諏訪保育園 3. 4. 5才児の保育事業</p>	<p>*児童福祉法第39条の規定に基づき、園児の最善の利益を考慮し、健全な心身の発達及び保護者の就労を保障します。</p>	○	<p>*以下の職員を配置しました。 3才児41名 担当保育士3名 補佐1名 4才児43名 担当保育士2名 補佐2名 5才児47名 担当保育士2名 補佐3名</p>	<p>*保護者アンケート(130家庭中113家庭の回答)による園評価の結果はおおむね良好でした。総合評価では、とてもよかった・よかったが94%悪かった・とても悪かったは0%でした。保育方針・保育目標・めざす子ども像の保育士への周知は、概ねできていたと思いますが、自己評価では課題も多いです。 *保護者の理解と協力・職員の連携でよりよい保育内容を創造していくことが課題です。</p>
	<p>*子どもたちの持っている力を活かしながら、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う環境を整え、養護と教育を一体的に行います。</p>	△	<p>*保育にかかわる専門職(保育士・調理員)が協力し、専門性を発揮しながら、養護と教育の一体的な展開を図り、質の高い保育が推進できるよう、年間研修計画をだて園内研修を充実させたり、専門性を高める研修会に積極的に参加して、臨時保育士を含め各々の資質向上に努めました。 *保育課程、年齢に適した保育計画・食育計画のもとに、主体的な発達要求に respond する環境を豊かに整え、保育の資質向上を図り、発達課程に応じた保育の充実を努めました。</p>	<p>*あらゆる研修情報を提供すると同時に、資質向上の機会を作り研修を積み重ねました。また、給食試食会を実施するなど年間計画をもとに保育・食育を充実させることもできました。 *専門性を高める研修会に積極的に参加し、研修を積むようにしてききましたが、研修したことが十分に活かされていらないと思うこともありまアプが必要でです。</p>
	<p>*家庭・地域とも連携しながら、小学校への望ましい接続を図ります。</p>	◎	<p>*小学校との交流・連携を図りながら、入学への望ましいアプローチに努めました。 *保育園・小学校の連絡会を開催し、育ちと学びをつなぐ接続を図りました。特に、特別支援を必要とする児童に対しては、小学校・保育園・保護者が、きめ細かく情報を共有し、共通理解に努めました。 *保育を公開すると同時に、小学校及び家庭の理解を得ると同時に、地域の要請に response して交流を深めました。</p>	<p>小学校との交流・連携を図るとともに、情報共有をしていりますが、就学後、不適應とみられる姿の報告もあり、後半は、学校生活への適應を意識しながら保育活動を実践していく必要があると思われまア。</p>

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>諏訪保育園 家庭支援事業</p>	<p>*保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮しながら、望ましい子育てを支援します。</p>	<p>○</p>	<p>*同和保育を理解し、人権意識を高める職員研修を実施しました。 *園児一人ひとりの生活とその背景の把握に努め、保護者の思いにより添った信頼関係の構築、育児支援の推進を目指しました。</p>	<p>*全職員対象の園内同和問題研修会と新任保育士対象の諏訪・あたご保育園同和保育研修会を実施し、原点に振り返り研修しました。 *年1回のクラス懇談のほか、個人懇談は年2回実施し、随時園だより・学年だよりで保護者理解と協力を求めながら、必要に応じ家庭訪問を実施しました。</p>
	<p>*一人ひとりの全面发展を保障します。</p>	<p>○</p>	<p>*職員間の共通理解を図り、家庭とも連携しながら、必要な支援・発達を促す有効な保育内容を創造して実施しました。 *発達に関する研修と実践を重ねながら、専門機関と連携し、支援を展開しました。</p>	<p>*集団に適応し難しい新入園児が安定して過ごせるよう、園内全体で取り組み、定期的な指導的言を受けながら保育実践を重ねたことで、安定して集団生活を送ることができました。今後、個々の実態に合わせた定期的な指導助言が必要で</p>
<p>諏訪保育園 一時預かり事業</p>	<p>*智頭町在住の保護者の要請に控え、未就園の3～5才児を一時的に預かり、子育て負担の軽減を図るなど育児を支援します。</p>	<p>○</p>	<p>*専任の職員配置はありませんが、同年齢のクラスで受け入れて実施しました。 *一時的であっても受け入れクラスを固定化したことで、より安心して利用してもらえました。</p>	<p>年中女児 2名 4・5・8・3月 延べ 26日間 年少男児 1名 2・3月 20日間 計 3名 延べ46日間の利用がありました。</p>

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>あたご保育園 0.1.2歳児の保育事業</p>	<p>*児童福祉法第39条の規定に基づき、園児の最善の利益を考慮し、健全な心身の発達及び保護者の就労を保障します。</p>	○	<p>以下の職員を配置し保育しました。 0才児10名 担当保育士4名(内臨時保育士2名) 1才児28名 担当保育士7名(内臨時保育士3名) 2才児24名 担当保育士4名(内臨時保育士1名)</p>	<p>*1才児18名の進級児に加え、10名の新入園児、合計28名となり1室では対応しきれないため、保育室を2部屋に分け月齢に配慮した保育をしました。 *低年齢児の入園に伴い、保育士(有資格者)の確保が課題です。</p>
<p>あたご保育園 0.1.2歳児の保育事業</p>	<p>*子どもたちの持っている力を活かしながら、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う環境を整え、養護と教育を一体的に行います。</p>	○	<p>*年間計画に基づく園内研修・園内公開保育・食育研修・その他専門性を高める研修会に積極的に参加し保育実践につなげる保育内容の創造に努めました。 *保育計画・食育計画のもとに、臨時職員と保育観を統一し、子ども一人ひとりの発達に合わせた保育環境を整え、保育の質を高めていきました。 *家庭訪問による個人懇談等を通して、園児一人ひとりの生活とその背景を把握し、保護者の思いに添いながら、育児支援に努めました。 *全職員での園内研修・新任保育士対象の同和問題研修などを実施し、人権感覚を高めるよう努めました。</p>	<p>*保育の専門性を高める研修・資質向上の機会を作り研修を積み重ねてきました。 *年齢別に臨時職員も含め子どもたちの発達に合わせた研修を深めてきましたが、個人差があり更に研修を積み重ねて保育の質を高めていくことが必要です。</p>
<p>あたご保育園 病児・病後児保育事業</p>	<p>*病児又は病氣回復期の園児を保育(看護)することで、保護者の子育てと就労の両立を支援します。</p>	◎	<p>*保育士1名を配置し、智頭病院小児科の受診で集団保育が適さないと診断された病児又は病氣回復期の園児を保育(看護)しました。 *今年度の延べ利用人数は101人で、0才児20名・1才児31名・2才児26名・3才児9名・4才児15名・5才児0名と、低年齢の子どもたちの利用が多いことから、低年齢の子どもたちの免疫力が低いと考えられます。小児科との連携はスムーズにいき、良い結果でした。</p>	<p>*保護者の思いを共有しながら育児に対する不安など、より適切な育児支援ができるような職員への対応が必要で、 *今年度は年間通して毎月の利用者が比較的少なかったです。専任の保育士だけで対応ができない場合は他の職員で対応しました。</p>
<p>あたご保育園 一時預かり保育事業</p>	<p>未就園児を預かり、児童福祉の増進と子育ての支援を図ります。</p>	○	<p>*保育士1名を配置し、一時的に保育園に預けることを必要とされた未就園児を保育しました。 *登録人数11名の内、利用人数は5名でした。年間延べ利用人数は93人で0才児・1才児の利用が多く、特に後半からの利用が多くなりました。</p>	<p>*年間通しての利用者があり、一時的でも受け入れクラスを同じにすることにより安心して利用できたと感じます。 *利用者が重複することがあるので調整が必要でした。</p>

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《小中学校教育の充実》</p> <p>智頭町学力向上推進事業</p>	<p>学校、家庭、地域や関係機関が連携連帯し児童生徒の指導に当たります。</p>	◎	<p>* 中学生対象の放課後学習教室、小学生対象のサマースクールなど、地域人材を活用して、児童生徒の学力向上を図りました。特に、家庭教育担当との連携を図り、教育講演会を開催した際は、多くの聴講者の参加があり、充実した取り組みとなりました。</p> <p>* 授業力アップ研修会が現場教師には好評であり、具体的スキルを向上させる取り組みを続けたいと考えます。</p> <p>* 京都市の学校視察などで、小中連携や学力向上策が明らかになりました。小中学校職員も自校でできる内容を工夫し、取り組んでいます。</p>	<p>智頭町独自である授業力アップ研修会を引き続き実施することで、児童生徒の学力向上を図りたいと考えます。また、県の補助事業との連携を進め、一流の専門家を招いて具体的指導が受けられる体制を続けたいと考えます。</p> <p>* 県外先進地への視察は、教師力を上げる上で不可欠と考えます。特に通常ならば全国的な情報から遠ざかりがちになる本町の教育現場において、新しい取り組みを肌で感じることは重要です。ICT機器を活用した授業の導入など、新たに取組むべき課題も見つかりました。</p> <p>* 中学校生徒の学力向上を図るため、小学校段階から生活習慣や学習習慣が定着するよう働きかけたいと考えます。</p>
<p>地域指導主事の設置</p>	<p>0歳から15歳を見通した教育の推進、小・中学校教育の充実、家庭教育の推進を図るため事務局に専門的な知識と技能を有する指導主事を設置し、学力指導も含めその推進・充実に努めます。</p>	○	<p>主に学力向上や生活習慣の改善、生徒指導を推進するため、各学校、専門部会での指導助言を行うとともに、幅広い分野で学校支援を促しています。具体的な補助的業務としてサマースクールの開催をはじめ、読書推進、放課後支援教室など、学校外での補助授業を実施して参りました。</p>	<p>保小中の連携や一貫した取り組み強化が求められています。智頭教育会との連携で、保小、小中の交流が進む手立てを打ちたいと考えます。</p> <p>* 智頭町教育ビジョンの内容改訂を実施でき、学校現場でその周知をさらに図る段階をめざします。</p> <p>* 学校での授業力向上を具体化し、児童生徒の学力が向上するよう努めたいと考えます。</p>
<p>マイクログラス等管理事業</p>	<p>学校教育や各種団体活動への支援をします。</p>	○	<p>学校教育の支援と、教育関係団体の研修等への活用が増加するなど、効果が発揮できました。</p>	<p>* 適切な維持管理を行い、幅広く活用できるようにしていきます。</p> <p>* 特に校外学習への活用が今後也多くなりなります。</p> <p>* 学年の人数が多くなり、マイクログラス1台での運用が難しくなっています。</p>

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
小学校管理事業	児童及び教職員の活動の場として学校施設の維持管理を行います。	○	<p>* 統合2年目を迎え、耐震補強及び大規模改修工事を実施した校舎の維持管理を行いました。</p> <p>* 閉校となった旧校舎の最低限の維持に努めました。</p>	<p>* 今後の旧校舎利活用を考慮し、維持管理します。</p>
小学校教育振興事業	「生きる力」の育成と人間性を育む「心の教育」を行い、生活習慣の確立を図り、児童一人ひとりを大切にいたした教育活動を行います。	○	<p>通学費、修学旅行費などの補助金や必要保護児童への援助を行い、保護者の負担軽減と均衡ある事業で対応しました。</p>	
学習支援・生活支援員の設置	小学校への就学に際し、学習・生活支援の必要な児童に支援員を配置します。	◎	<p>智頭小学校特別支援学級を中心に6名の支援員を配置し、学習支援の充実を図りました。通常学級での支援を要する児童にも、適切に対応することができました。</p>	<p>* 通常学級も含め、支援が必要な児童が増加する傾向にあります。今後支援の必要な状況を把握しながら、早期に対応するよう努めます。</p>
創造的な学習支援事業	総合的な学習や体験的な学習の充実を図ることにより、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、進んで本町に関わる子どもを育てていきます。	◎	<p>* 各地域の歴史文化をはじめとして特色を学び、郷土愛を醸成することができました。</p> <p>* 地域内講師（ゲストティーチャー）による民芸や米作り、太鼓の承継など独自の学習を実践しました。</p> <p>* 地域の次代を担う子どもたちの育成が図れました。</p>	<p>* 統合2年目を迎えた小学校では、地域の人材活用をさらに進めることで、新たな学校風土が築き上げられることが期待されます。</p> <p>* 学校支援地域パートナーシップの仕組みを活かし、学校と地域とがつながるよう支援していきます。</p> <p>* 中学校では、キャリア教育との視点から、地域とつながりのある活動が引き続き行われます。</p>
小学校同和教育研究事業	差別に気付き、差別を見逃さない、差別に負けない、人の痛みをのわかる児童の育成と人権を尊重する教育の充実を図ります。	○	<p>* 地区学習会を開催しました。</p> <p>* 学習のみならず、生活習慣や差別のない社会を目指し、差別に負けない学習が展開されました。</p> <p>* 同和問題のみならず、広く人権に関わる問題についても学んでいます。</p>	<p>* 地区学習会事業以外にも、総合的な学習や学校行事など、人権について学べる機会をさらに増やすようにしていきます。</p>

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
中学校管理事業	生徒及び教職員の活動の場として学校施設の維持管理を行います。	○	平成26年度末の新校舎完成に向けた中学校改築事業の実施に伴い、必要最小限の維持補修経費としました。	
中学校教育振興事業	「生きる力」の育成と人間性を育む「心の教育」を行い、基礎基本を徹底させ、生徒一人ひとりを大切にしたい教育を行います。	○	<ul style="list-style-type: none"> *地域の特別非常勤講師を招聘し、茶華道教室、剣道及びバレーボールの部活動の活性化を図りました。 *放課後支援教室など補助学習を行ったり、体力向上や礼儀作法など人格形成を図る運動部活動を支援し、心身一体となった「生きる力」の醸成を図りました。 *教育の機会均等を図るため、通学費、修学旅行費、特別支援学校への通学費等の支援制度で生徒と保護者負担の軽減を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> *自立心と自律的な態度が育つように、生徒の実態に応じた効率的な教育活動を支援していきます。 *やさしさでたくましくさを兼ね備えた生徒を育成するため、教職員の授業力の向上をめざします。
中学校改築事業	老朽化した中学校の改築を行い、安全安心な教育環境を整えます。	◎	平成27年3月の完成に向け中学校改築事業を実施しており、平成25年度末の出来高は約42%となっています。	
外国語指導助手招致事業	児童・生徒が生きた外国語に直接ふれることにより、興味と関心を持ち国際理解と学習意欲の向上につなげます。	◎	<ul style="list-style-type: none"> *中学校と小学校を担当するALTを配置し、新学習指導要領に向けた体制を整備しました。 *中学生においては、正しい発音を習得し、確実な英語力と、国際化時代に対応した異文化の知識も向上しました。 	<ul style="list-style-type: none"> *1名の共通のALTにより、小学校と中学校との連携強化を図り、一貫した指導への支援が可能になりつつあります。今後とも、児童生徒の安心感からも体制の確保を図りたいと考えます。

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
心の教室相談員事業	生き生きと勉強や各種活動に取り組み生徒の育成と、生徒の問題行動解決につなげます。	○	<p>*生徒の問題行動やストレス、不安を解消するため相談員を配置し、生徒の心の安らぎがもたらされるようになっています。</p> <p>*近年増加傾向の不登校生徒への支援もを行い、状況の改善も見られ始めました。</p>	<p>*相談員が関わることで、登校につながる生徒がいます。今後引き続き配置していくことと、保護者との関係が深まるよう、スクールカウンセラーなどとの連携も強めます。</p>
地域に学ぶワクワクちづ事業	職場体験活動を通して地域社会に学び自らの進路について主体的に考える人間形成の場とします。	◎	<p>2年生が3日間にわたり町内の事業所で職場体験を行いました。仕事の厳しさや、将来の夢を見つめる機会となり、キャリア教育の推進となりました。</p>	<p>*協力していただける事業所の確保を今後も進めていきます。</p> <p>*キャリア教育の視点から将来の夢や希望となるよう実施前後での十分な準備と生かされる工夫をします。</p>
中学校同和教育研究事業	差別に気付き、差別に負けない、人の痛みをわかる生徒の育成と人権を尊重する教育の充実を図ります。	○	<p>生徒の身の回りの生活改善はもとより、差別のない社会の実現を図るため、学習に加えて生活習慣や人権問題を考える機会となっており、</p>	<p>小学校での学びの上に立ち、中学校での人権学習での学びが、生徒の生きる力となるよう、また生活内で実践化されるよう支援してまいります。</p>

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《社会教育の充実》 社会教育委員</p>	<p>社会教育の振興を図るために社会教育委員協議会を開催します。</p>	○	<p>* 社会教育委員会議を開催し、25年度の社会教育事業について説明し、意見交換・情報交換を行いました。 * 県の実施する研修会へ委員が積極的に参加しました。</p>	<p>委員会としての活動としてはありませんが、各委員の活動をおおして社会教育の活性化を図ることを共通認識してまいります。</p>
<p>文化財保護事業</p>	<p>町内文化財の調査・研究を通じて、町内に点在する文化財の掘り起こしと保護と活用を図ります。</p>	○	<p>* 町内文化財の掘り起こしと調査研究を行いました。</p>	<p>無形文化財の掘り起こしも地域と連携して進めたいと考えます。</p>
<p>文化振興事業</p>	<p>町民の文化意識の高揚と地域文化の振興を図るため、文化協会の並びに協会加盟団体の活動支援と智頭町文化祭など各種文化事業を推進します。</p>	○	<p>* 智頭町文化祭 延べ来場者数554人 内訳：展示の部 10/26(土)・27(日) 250人 前夜祭ライブ 11/9(土) 88人 芸能の部 11/10(日) 216人 * 第16回ふれあいコンサート10/20(日) 136人</p>	<p>* 町内文化事業の担い手の高齢化が進み、熱心の域にある一方、若年世代の参加・継承等が課題です。 * 文化祭は智頭町文化協会に委託。文化祭のあり方を再検討し、町民への作品展示・芸能発表はもとより、他団体の作品・芸能の認め合いが必要です。 * ふれあいコンサートは文化協会の補助事業です。良質なクラシック音楽を町民に提供する趣旨を再確認することが必要です。</p>
<p>町成人式</p>	<p>町の将来を担う新成人者を町を挙げて祝福し、成人の自覚と町への愛着を醸成します。</p>	○	<p>新成人等で構成した実行委員の企画による「智頭町成人式」を開催しました。式典終了後に実行委員(新成人)の進行で祝賀会を開催し、なごやかな雰囲気での会となりました。H26年1月12日開催…当日参加者数63人、内在住成人者数54人(外国人登録者含む)</p>	<p>新成人自らの企画を取り入れた成人式を今後も継続しつつ、成人者としての自覚を持てる企画を来年度に向けて検討します。</p>
<p>社会教育事業 (婦人団体・青少年の育成)</p>	<p>婦人団体の活動支援と青少年育成推進指導員協議会を通じた青少年の育成事業などを実施し、青少年の健全な育成を推進します。</p>	○	<p>智頭町青少年育成推進指導員協議会(15人)の委託事業と給食センター共催による事業等を実施しました。サマーキャンプ(大山青年の家)33名、夏・冬子どもおやつ作り教室(ほのぼの)37人、体力づくり教室(智頭小体育館)11人、新春書き初め大会29人参加</p>	<p>青少年育成鳥取県民会議との事業連携を図ります。</p>

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
家庭教育学級事業	社会環境の変化により地域のつながりが希薄となり、家庭・地域の教育力が低下する中で、国の支援事業を活用して家庭教育の学習機会を提供します。	○	<p>*家庭教育支援チーム(すぎっこ応援隊)の企画による家庭教育講演会を実施しました。(9月21日・10月24日)</p> <p>*「機関紙ひだまり」を作成し、テーマ等を変えながら保・小・中学校の各家庭に配布しました。</p> <p>*関係機関で参観日等を活用し、家庭教育学級(P・T・A研修会等3回)を開催しました。</p>	<p>家庭教育については、保護者への粘り強い啓発が必要で、特に講演会・研修会等へ参加しない人への働きかけが課題となっています。</p>
遺跡発掘事業	埋蔵文化財の保護と智頭枕田遺跡の調査・研究・活用を行います。	○	<p>*町内開発計画への対応を行いました。</p> <p>*土器づくり教室・文化祭への展示を行い、町民理解に努めました。</p>	<p>先人の記録である「遺跡」の価値を現在の智頭町民に正しく伝えるために、研究(ハード)と展示や体験などの活用(ソフト)をバランス良く行っていくことが重要です。</p>
生涯学習講座	自主的な学びの場、町民の交流の場、生き甲斐づくりの場としての受け皿となる多様な分野の生涯学習講座を開催します。3年間の講座を経て、自主運営サークルへの発展を目指します。	○	<p>【生涯学習講座】実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵手紙(10回開講) 受講者数16人 ・太極拳(20回II) 受講者数15人 ・木もれ日クッキング(4回II) 受講者数18人 ・智頭学(10回II) 受講者数23人 	<p>*各講座(智頭学を除く)で3年間続ける受講生の割合にバラつきがあり、さらに開講回数が多い講座は、年間の出席率にも大きなバラつきがあります。3年間を通じて続けられる講座開催が必要です。</p> <p>*3年で終了を迎えた講座がその後、いかに自立したサークルとして定着するかという課題もあります。</p> <p>【近年自立し、現在も活動しているサークル】 ガーデニング教室(H17~19) 和紙折り紙教室(H17~19) マジッククラブ(H18~20)</p>

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
高齢者教育事業	<p>高齢者が様々な分野の学習活動を通して楽しみながら知識を身に付け、生き甲斐のある充実した生活を送ることをねらいとした牛臥大学を開設します。またアンケータ等を実施し受講者ニーズの把握に努めます。6月開講 10回開催</p>	○	<p>6月～3月開講 ・受講申込者数83人 ・講座開催10回 ・延べ受講者数375人 ・平均受講率45% (啓蒙表彰3人)</p>	<p>*高齢者が楽しみながら自発的に学習する事業の趣旨に沿って、運営委員会で学習内容や受講生募集について検討が必要です。 *運営委員会は各地区老人クラブ会長で構成されており、機能強化を図る必要があります。</p>
地区公民館事業	<p>地域における生涯学習・文化・スポーツ活動等の地域活動拠点施設として、住民主体の地域づくり運動の充実を目指します。</p>	○	<p>地区公民館活動の運営を委託しました。 委託料4,860千円 総事業費27,757千円</p>	<p>*施設営繕が緊急の課題である。雨漏りなどによる漏霽、火災発生が懸念される。 *中央公民館との連携、地区振興協議会との協働を通じて、幅広い社会教育活動の展開が求められている。</p>
歴史の道整備活用推進事業	<p>平成8年に文化庁から「歴史の道百選」に選定された智頭往來を整備すると共に保存・活用します。</p>	○	<p>志戸坂峠の保存修理工事をしました。 総事業費8,744千円</p>	<p>*整備計画を見直し、国史跡として全線指定されるよう努めます。 *国史跡指定を契機に、観光交流の視点でも活用することが必要です。 *岡山県西粟倉村との連携が必要と考えます。</p>
板井原集落整備活用推進事業	<p>板井原集落を「伝統的建造物群保存地区」(鳥取県指定)として保存計画に基づいた修理事業と活用事業を行い、国の選定を目指します。</p>	△	<p>集落内建築物1棟の改修(H24繰越)を助成し、景観保全を図りました</p>	<p>継続的に集落の景観保全を図るとともに、集落保存協議会と連携した地域振興事業を行う必要ががあります。特に開発事業との調整は今後とも注意を払う必要ががあります。</p>

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
石谷邸保存活用整備事業	因幡街道ふるさと振興財団へ指定管理委託し、文化財としての観光拠点施設として管理運営を行います。	○	<p>* 石谷家住宅の管理運営を引き続き財団法人因幡街道ふるさと振興財団へ指定管理委託しています。 委託料 7,923千円 入館者実績 H25・30,603人</p> <p>* 県指定名勝である石谷氏庭園の維持管理を行いながら、年2回の庭園特別公開を通じて情報発信に努めました。</p>	<p>* 智頭宿のまちづくり拠点施設として積極的に関わることが必要です。 * 平成13年の一般公開から随所に補修箇所が見られることから、計画的な維持管理が必要です。</p>
《社会体育の充実》 スポーツ推進委員	各地区から選出された18名で構成するスポーツ推進委員による町民体力づくり事業の普及・振興と町民体育事業への参加及び推進委員としての資質向上のため、県の県内体育事業等へ参加します。	○	<p>* CHEERFUL鳥取から4名の選手を招いてのバドミントン教室を開催しました。(参加者:50名) * 八頭郡スポーツ推進委員研修会に14名参加するとともに、中国地区スポーツ推進委員研究会に2名参加しました * 智頭町体育協会、スポねっとちづの主催する事業にも、役員として参画しています。</p>	<p>* 智頭町体育事業への参加はちろろん、スポーツ推進委員としての具体的な活動計画を策定し、体育振興の充実を図る必要があります。 * 智頭町スポーツ推進委員協議会の役割を明確化し、個々の委員が役割を認識したうえで活動の強化を図ります。</p>
体育振興事業	智頭町体育協会を中心に町民の健康づくりや生涯スポーツ活動に寄与する体育事業を展開します。またスポねっとちづは、運動能力の向上や仲間づくり、他者への思いやりの心を育むことを目標に青少年へのスポーツ普及を推進します。	○	<p>* 体育協会へ活動支援による各種スポーツ大会等を実施しました。(町民体育祭、バレーボール大会、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会) クラブ数:8 * 総合型地域スポーツクラブ・スポねっとちづへの活動支援によるスポーツ環境の整備拡充を図りました。(クラブ数:10) 会員数:134名</p>	<p>体育振興をより活性化させるため、町内の体育関係機関の連携を密にし、体育協会を中心とした組織の充実を図ります。</p>
体育施設管理事業	健康づくり、スポーツの場となる体育施設の適正な管理と環境整備を進めます。	○	<p>* 各体育施設の維持管理を行っています。 * 智頭温水プールの管理運営を(株)エヌ・アイへ指定管理委託しています。 委託料 18,182千円</p>	<p>* 総合グラウンドを野外スポーツの拠点施設として位置付け、活用体制づくりと施設整備を進める必要がります。 * 温水プールの機械設備・送迎用車輛の更新を検討する必要があります。 * 町民体育館の使用ができなくなつた以上、勤労者体育館の設備を充実させ、より町民が使用し易いように設備の更新を行う必要がります。</p>

平成24年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成24年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
《図書館事業》 図書館	図書館サービスを充実させ、個人の利用を増やします。また、保育園や学校へのサービスにも努力します。目標…冊数45,000冊。	△	カウンタ業務を中心にしながら、統合された小学校の図書館環境を整備し、授業や読書に十分に活用されるよう支援しています。 利用登録者数…個人3,363名(新規120名)、団体124団体 貸出冊数…36,831冊 (個人27,820冊、団体9,011冊) リクエスト件数…4,477件 シェアレンス件数…744件 学校図書館・保育園支援回数…延べ99回	* 小学校の統合による団体貸出件数の減少など、外的要因が貸出実績に大きく影響しています。 * 個人貸出の実績は大きな変化は見えません。 * 町外からの移住者の新規登録が増えています。 * 他の町内在住者の利用をもっと増やすために、利用の周知や本の紹介チラシを作成・配布して新規登録者の開拓に努めます。
郷土読本の作成	学校や図書館で必要な郷土に関する資料を作成します。	△	本年度は資料の収集と整理を行いました。	次年度への継続事業とします。
おはなし会事業	読書への入り口として、幅広く参加してもらえようとおはなし会を開催します。目標…参加人数800人	◎	子育て支援センターとの共催や小学校への出張、また季節のおはなし会等を実施しました。 実施回数…子育て支援センターとの共催12回、季節のおはなし会4回、出張おはなし会17回 参加人数…子育て支援センターとの共催215人、季節のおはなし会74人、出張おはなし会806人 合計1,095人	* おはなし会の参加人数は前年度より増加しています。 * 学校でのおはなし会では、ブックトークなど、読書意欲の育成に効果のある内容に取り組んでいます。

平成24年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成24年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
ブックスタート	ブックスタートが家庭での読みかきかせにつながるよう、啓発を工夫していきます。	○	<p>*対象者に絵本を手渡し、読み聞かせやわらべうたでふれあいの時間を持つよう奨めています。</p> <p>*フアロー事業として実施しているおはなし会は、子育て支援センターとの協力で月1回行っています。毎回好評です。ほぼ毎回参加される親子もありません。</p>	<p>若い保護者に、絵本や児童書のおもしろさを発見してもらえような講座の開催に取り組めます。</p>
子どもと本を知る講座	子どもに関わる全ての大人に、子どもと本に対する関心や知識を深め、読書の意義を理解していただく。目標…講座参加人数200人	◎	<p>子どもを取りまわりの大人が子どもを理解し、読書の大切さや子どもの本などについて知ってもらう講座を、今年度は子育て支援センターと智頭小学校の事業と連携して開催しました。</p> <p>講座回数…2回、参加人数…96人</p>	<p>*学校の参観日の研修で、ふだん忙しい子育て世代が参加しやすいため、今後も学校教育担当者や家庭教育担当者との協力体制を深めていきます。</p> <p>*読書や図書館への関心が高まっています。対象は子どもと入れ替わっています。対象は子どもと入れ替わっています。対象は子どもと入れ替わっています。</p>
図書館まつり	児童向けの人形劇で読書活動の活性化を目指し、夏休み前の調べ学習教室で、図書館を活用した学習に取り組めます。目標…参加人数 100人	◎	<p>*子どもから大人まで参加できる、鳥の劇場「どろぼうがっこう」公演を開催しました。参加人数…144人</p> <p>*調べ学習教室は開催できませんでしたが、当初は予定していませんでしたが、智頭出身の戦場カメラマン青木弘氏の写真展を智頭中学校文化祭で開催しました。参加人数…500人</p>	<p>次年度も子ども向けの事業と大人向けの事業をそれぞれ企画していきます。</p>

平成24年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成24年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
子ども読書活動推進計画の策定	平成24年度内に策定します。	◎	策定委員会を設置し、12人の委員で検討を重ね、年度末に策定することができました。	推進計画をもとに、読書活動の推進に取り組んでいきます。
昔話伝承事業	智頭の昔話を保存し継承していくために、昔話に親しみ、関心を深めるよう事業を実施します。	○	高年齢者の牛臥大学と連携し、昔話に関する講座を開催しました。鳥取市の語り手赤中嶋須美子さんと智頭の語り手の会を堀澄江さんによる、昔話とトークの会を開催しました。参加人数…43人	*小学校の読み聞かせボランティアにも昔話に関心を持つ人もあり、勉強会を開催する予定です。 *次年度も機会を捉えて、昔話に関する事業を企画していきます。

平成25年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成25年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《学校給食事業》</p> <p>学校給食</p>	<p>学校給食は教育の一環であり、食環境、健康増進、地産地消、食文化の理解など、生涯を通じて健康であり続けるための「食」の基礎を身につけます。</p>	<p>△</p>	<p>衛生管理と、栄養バランスのとれた、安全で安心なおいしい給食の提供に努めました。</p> <p>小学校 58,059食 中学校 30,794食</p> <p>*学校給食食材の県内産地産地消費率は74%となり、今後も高水準の維持を目指し、地元食材グループ、JAいなば智頭支店と連携を密にしながら地産地消を推進します。</p> <p>H21年度 63.0% H22年度 49.0% H23年度 61.0% H24年度 77.0%</p> <p>*学校給食費の徴収を給食協議会と連携することで、未納はありませんでした。</p> <p>*栄養士食育活動より子どもたちへの食育指導は大幅に充実し、子どもたちだけでなく職員、保護者を含め学校全体で食への関心が高まってきました。</p> <p>H22年度 190回 H23年度 188回 H24年度 136回 H25年度 162回</p>	<p>*食材グループ、JAいなば智頭支店の関係者に作付け予定品目と収穫時期などの調査を行い、地元食材の活用に向けて、関係者との連携が必要であると考えます。</p> <p>*児童の食育推進に関して、加配等の継続により充実を図る必要があります。</p>
<p>食育推進事業</p>	<p>学校給食センターが、町の食育推進の中核として食育の研究、住民への啓発を行いません。</p>	<p>△</p>	<p>*学校給食週間(1月)に食育講演会を開催、住民への啓発を図りました。</p> <p>*児童生徒、家庭の食への関心、知識を高めるため食育を積極的に推進しました。</p>	<p>講演会・給食試食会への参加者が低調であり、事業の実施について検討を要する。</p>

評価の基準

◎ (順調)	優れた取組や状況が見られ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。
○ (概ね順調)	よい取組や状況が見られ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。
△ (やや順調でない)	課題が少なからずあり、目標達成がやや順調でないもの、又は一定の成果はあったが新たな課題が生じたもの。
× (順調でない)	課題が多く、まだ改善に向けた取組に着手できていないか、着手してもほとんど成果がないなど、目標がほとんど達成できなかったもの。

3. 教育委員会の活動状況

教育委員の在任状況

(平成26年3月31日現在)

役職	氏名	在任期間	備考
委員長	酒本弘道	平成25年10月1日～平成29年9月30日 委員長：任期 平成25年10月1日～平成26年9月30日	再任
委員長 職務代行者	伊藤學	平成23年10月1日～平成27年9月30日 委員長職務代行：任期 平成25年10月1日～平成26年9月30日	
委員	寺坂敏子	平成22年10月1日～平成26年9月30日	
委員	平井早苗	平成24年10月1日～平成28年9月30日	
教育長	藤原孝	平成25年4月1日～平成29年3月31日	再任

1) 委員の異動

- ・平成25年9月30日をもって酒本弘道委員が任期満了となり、平成25年10月1日に酒本弘道委員が選任（再任）されました。
- ・藤原孝委員は、平成25年3月31日をもって任期満了となり、平成25年4月1日に藤原孝委員が選任（再任）されました。

2) 委員長等の異動

- ・酒本弘道委員長は、平成25年9月30日をもって任期満了となり、平成25年10月1日に酒本弘道委員が委員長に選任（再任）されました。
- ・併せて伊藤學委員が、平成25年10月1日に教育委員長職務代行者として選任（再任）されました。
- ・藤原孝教育長は、平成25年3月31日をもって任期満了となり、平成25年4月1日に藤原孝委員が教育長に選任（再任）されました。

平成25年度教育委員会の会議の状況（概要）

- ・教育委員会 定例会 12回
 - ・議案 20本 報告事項 57本 協議 5本

- ・学校・保育園訪問 9回：
 - ・定例委員会と同日実施

- ・委員研修会 1回
 - ・鳥取県市町村教育委員研修会 倉吉市

- ・その他 17回
 - ・保育園・小学校・中学校入学卒業式
 - ・智頭教育会出席
 - ・智頭町保小中高PTA 連合会との意見交換会
 - ・各小中学校および各地区公民館運動会の視察

4. 附属機関の開催状況

教育委員会附属機関会議の開催状況

・智頭町社会教育委員協議会	2回
・智頭町文化財保護審議会	1回
・智頭町伝統的建造物群保存地区保存審議会	0回
・智頭町スポーツ推進委員協議会	11回
・智頭町青少年育成懇談会	1回
・智頭町青少年育成指導員協議会	11回
・智頭町立智頭図書館協議会	2回
・智頭町学校給食センター運営委員会	2回
・智頭町子ども・子育て会議	2回

資 料 編

(資料) 平成25年度教育委員会の会議の状況(詳細)

4月定例委員会(4月1日)

議案

- (5) ・ 智頭町民運動場等管理規則の一部改正について
- ・ 智頭町営キャンプ場管理規則の廃止について
- ・ 学校医等の委嘱について
- ・ 心の教室相談員の委嘱について
- ・ 特別支援教育コーディネーターの委嘱について

報告

- (1) ・ 教職員、事務局職員の配置について

協議

- (1) ・ 智頭町教育委員会教育長の任命について

5月定例委員会(5月24日)

議案

- (5) ・ 平成25年度準要保護児童生徒の追加認定について
- ・ 智頭町立小・中学校主任等の任命について
- ・ 平成25年度要保護児童生徒の認定について
- ・ 平成25年度準要保護児童生徒の認定取消について
- ・ 智頭町子ども読書活動推進計画の承認について

報告

- (3) ・ 放課後児童クラブの移設について
- ・ 中学校改築工事について
- ・ 給食の異物の混入について

協議

(0)

6月定例委員会(6月17日)

議案

- (2) ・ 智頭町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
- ・ 智頭町立学校給食センター監査委員の選任について

報告

- (8)
- ・ 給食の異物混入について
 - ・ 智頭小学校教諭の病休に伴う代替教員について
 - ・ 農林高校校長の校長園長会出席について
 - ・ 中学校の警備体制について
 - ・ ケニア大使の小中学校訪問について
 - ・ 中学校改築について
 - ・ 中学生の国際交流について

協議

(0)

7月定例委員会（7月23日）

議案

(0)

報告

- (3)
- ・ 中学校改築工事について
 - ・ 土曜授業について
 - ・ 給食の異物混入について

協議

(0)

8月定例委員会（8月20日）

議案

- (1)
- ・ 平成26年度から知的特別支援学級で使用する小学校教科用図書採択について

報告

- (6)
- ・ 議会の構成について
 - ・ 中学校改築工事について
 - ・ 点検と評価について
 - ・ 各地区運動会、学校運動会について
 - ・ サマースクールについて
 - ・ 放課後児童クラブ

協議

- (1) ・ 教育委員会制度の在り方について

9月定例委員会（9月25日）

議案

- (1) ・ 智頭町立小学校主任の任命について

報告

- (5) ・ 各運動会について
- ・ 久本遼太君ジュニアオリンピック優勝、町長表彰について
- ・ 智頭農林高校観光甲子園優勝について
- ・ 教育委員長議会回答について
- ・ 中学校改築事業について

協議

- (2) ・ 智頭町教育委員長の選任
- ・ 智頭町教育委員長職務代理の指定について

10月定例委員会（10月29日）

議案

- (0)

報告

- (2) ・ シンボル丸太伐採体験について
- ・ 中学校体育館解体について

協議

- (0)

11月定例委員会（11月26日）

議案

- (1) ・ 智頭町子ども・子育て会議条例の制定について

報告

- (10) ・ シンボル丸太伐採体験について
- ・ 智頭小県教育委員会表彰について

- ・ 小学校入学前保護者アンケートの実施について
- ・ 図書館講演会について
- ・ 図書館視察について
- ・ 韓国楊口郡文化交流訪問について
- ・ 県議会子育て視察（森のようちえん）について
- ・ 町議会委員会中学校現地視察について
- ・ 各地区公民館祭について
- ・ スポネットバドミントン教室について

協議

(0)

町小中高PTA連合会「教育を語る会」（11月26日）

12月定例会（12月25日）

議案

(0)

報告

- (6)
- ・ 成人式について
 - ・ 中学校建築について
 - ・ 土曜授業について
 - ・ 生活状況について
 - ・ 小中学校の平成26年度授業日日程について
 - ・ 町政100周年記念式典について

協議

(0)

1月定例委員会（1月24日）

議案

- (1)
- ・ 平成25年度準要保護生徒の認定について

報告

- (3)
- ・ 「いじめ防止対策法」に係る智頭町の対応について
 - ・ 特別支援教育の状況について

- ・ 中学校現場見学会の開催について

協議

- (1) ・ 智頭町「子ども子育て会議」の開催について

2月定例委員会（2月18日）

議案

- (1) ・ 平成25年度準要保護児童生徒の認定について

報告

- (7) ・ 保小連携と小中連携について
- ・ 特別支援総合推進事業について
- ・ いじめ防止対策推進法について
- ・ 少人数学級事業の意識調査について
- ・ 子ども・子育て会議について
- ・ 中学校改築工事について
- ・ 中学校生き方フォーラムについて

協議

- (0)

3月定例委員会（3月12日）

議案

- (3) ・ 平成25年度末教職員人事について
- ・ 平成25年度智頭町教育委員会表彰者の認定について
- ・ 智頭温水プールの管理に関する条例の一部改正について

報告

- (3) ・ 平成26年度当初予算要求について
- ・ 不登校の状況について
- ・ 標準学力調査について

協議

- (0)

(資料)

教育委員会事務局主管の委員会の開催状況 (詳細)

*智頭町社会教育委員協議会 (2回)

開 催 平成24年6月22日 (金)

議 題 ・平成24年度智頭町社会教育関係事業について
・平成24年度智頭町社会教育推進体制について

開 催 平成25年3月28日 (木)

議 題 ・平成25年度社会教育事業について

*智頭町文化財保護審議会 (1回)

開 催 平成25年11月25日 (火)

議 題 ・来年度事業について

*智頭町青少年育成懇談会 (1回)

開 催 平成24年7月20日 (金)

議 題 ・青少年育成鳥取県民会議について
・とっとり若者自立応援プランについて
・青少年関連事業の取組について

*智頭町立智頭図書館協議会（2回）

- 開 催 平成25年7月24日（水）
説 明 平成25年度智頭町立智頭図書館運営について
 子どもの読書活動推進計画について
議 事 委員長・副委員長の選出について
 図書館運営と図書館の環境整備について
- 開 催 平成26年2月19日（水）
議 事 平成25年度図書館事業報告について
 平成26年度図書館事業予定について

*智頭町子ども・子育て会議（2回）

- 開 催 平成26年1月27日（月）
議 題 ・智頭町子ども・子育て会議の設置趣旨等
 ・子ども・子育て支援事業計画の基本理念について
 ・子ども・子育て支援事業にかかわるニーズ調査について
- 開 催 平成26年3月26日（水）
議 題 ・ニーズ調査（未就学児）単純集計結果について
 ・地域子ども・子育て支援事業について